

# 日本難病看護学会交流集会

日時：平成30年7月22日（日）14時00分～15時40分  
場所：新潟県立看護大学

テーマ：神経難病リハビリテーションに親しむ

## 《プログラム》

講演：「神経難病リハビリテーションと難病看護の関わり」（20分）  
演者：小森 哲夫 国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター

根本的治療法が定かでない神経難病の患者は、疾患と共生する人生を歩んでいきます。その中で、療養を支える最前線には看護があり、加えてリハビリテーションの果たす役割に大きなものがあります。現在の難病医療提供体制の中で看護とリハビリテーションの連携はどのように位置付けられ、どのように連携することが良いのかななどを語ります。

## ★神経難病リハビリテーションなんでも相談（80分）

日々の業務においてリハビリテーションに関連した疑問点、不思議に思うことなどにお答えします。集会の参加者からいただく相談とともに事前相談も募ります。相談をお持ちの方は、[greatqol@hakone2.hosp.go.jp](mailto:greatqol@hakone2.hosp.go.jp) までメールでお寄せください。集会での回答者は以下の通りですが、作業療法士、言語・聴覚士の分野への事前相談には、専門家ができる限りのお答えを準備します。

### 【回答者】

菊地 豊 美原記念病院 神経難病リハビリテーション科 理学療法士  
小林 庸子 国立精神・神経医療研究センター病院リハビリテーション科 医師  
小森 哲夫 国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター 医師  
田中 勇次郎 東京都作業療法士会 作業療法士  
宮川 哲夫 昭和大学大学院保健医療学研究科呼吸ケア領域 教授 理学療法士

この交流集会は、神経難病リハビリテーション研究会及び厚生労働行政推進調査事業費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））【難病患者の総合的支援体制に関する研究】班（研究代表者 小森哲夫）が共催します。